

連続講座・日韓の「歴史問題」の論点を探る

● 開催趣旨

2023年には、尹大統領の訪日、岸田首相の訪韓があり、日韓間の外交では協調・協力に向けた動きが目立ちました。また、相互のコロナウィルス対策の各種制限が緩和されたことにより、人びとの往来・交流も活性化しています。このようななかで、日韓間の葛藤となって来た「歴史問題」についても、市民レベルでの認識を深めていくことが求められています。東京大学韓国学研究中心では、史実の把握やこれまでの施策、法的問題などの論点について、「歴史問題」の何がどう問題なのかを基本に立ち返って考えるべく、連続講座を開催します。12月26日は、韓国学研究中心の木宮正史教授より、この間の尹政権の対日外交についての分析、柳美那（国民大学助教授）より文化財問題についての韓国の動向について、お話しをうかがいます。

● 第15回 尹政権の対日外交と韓国社会

講師：木宮 正史（東京大学総合文化研究科教授）

講師：柳美那（国民大学助教授）

● 日時：2023年12月26日（火）15:00～17:00

Webex ウェビナーを用いたオンラインシンポジウムとして開催します。（要・事前登録）

● 言語：日本語（通訳なし）

● 参加費無料、ただし12月24日（日）までに**事前登録**が必要です。

下記のウェブフォームまたはメールでの登録をお願いいたします。

開催日までに、事務局よりメールでウェビナーのURLをお知らせします。



・ウェブフォームでの事前参加登録は、[こちら](#)→

・お問い合わせ cks@iags-cks.c.u-tokyo.ac.jp（東京大学韓国学研究中心事務局）

【注意点】

・本シンポジウムは、Webex によるオンラインシンポジウムです。シンポジウム参加のため、事前に Webex のインストールをお願いします。→ダウンロードセンター (<https://www.webex.com/ja/downloads.html>)

・ Webex の操作方法や接続不備については恐れ入りますが、Webex のヘルプセンター (<https://help.webex.com/ja-jp>) をご活用ください。

主催 東京大学韓国学研究中心

後援 韓国国際交流財団